

あわらし市財政事情書

平成28年5月1日

まえがき

この財政事情は、市の財政状況と市が管理する地方公営企業の業務状況を広く市民の皆様にお知らせし、市政に対する御理解と御協力をいただくため、市が公表するものです。

今回は、平成 28 年度における重点事業及び HEECE 構想事業（財政方針）並びに平成 27 年度下半期（平成 27 年 10 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）における財政運営の状況及び公営企業の業務状況について公表します。

第1 平成28年度当初予算の概要

1 予算規模

平成28年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ148億2,000万円で、前年度と比較して14億8千万円、11.1%の増となりました。

これは、前年度が骨格予算であったことのほか、国営九頭竜川下流土地改良事業負担金、庁舎耐震補強・改修工事、小中学校コンピュータ整備、農業者トレーニングセンター改修工事などの大型事業が予定されているため、当初予算の規模としては合併後最大となりました。

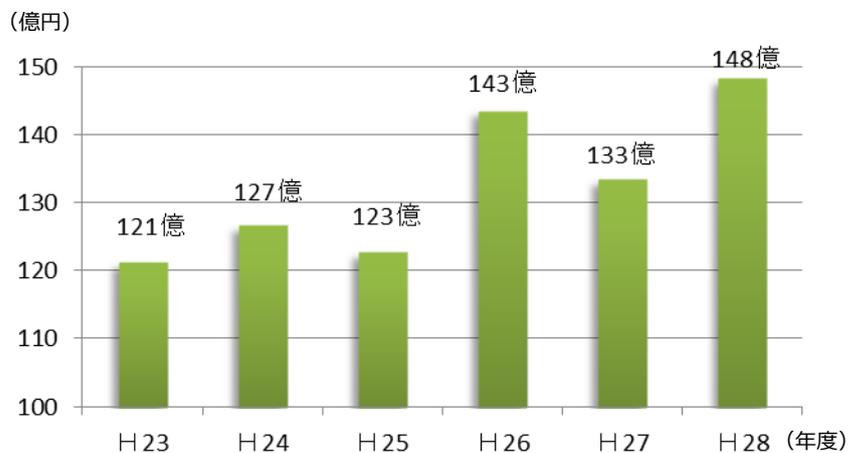
各会計予算規模

(単位：千円、%)

会計		区分	平成28年度 当初予算額	平成27年度 当初予算額	比較増減額	増減率
一般会計			14,820,000	13,340,000	1,480,000	11.1
特別会計	国民健康保険特別会計		3,408,700	3,375,200	33,500	1.0
	後期高齢者医療特別会計		297,400	296,500	900	0.3
	産業団地整備事業特別会計		0	3,800	△3,800	皆減
	農業者労働災害共済特別会計		5,000	5,000	0	0.0
公営企業会計	水道事業会計		1,047,217	1,069,017	△21,800	△2.0
	工業用水道事業会計		12,745	11,303	1,442	12.8
	公共下水道事業会計		2,512,395	2,523,635	△11,240	△0.4
	農業集落排水事業会計		105,245	107,634	△2,389	△2.2
合計			22,208,702	20,732,089	1,476,613	7.1

※産業団地整備事業特別会計はH27年度末で廃止となりました。

一般会計予算規模推移



2 一般会計歳入予算の概要

歳入は、市税等の自主財源が 6,196,875 千円、構成比 41.9%で、国庫支出金、市債等の依存財源が 8,623,125 千円、構成比 58.1%となっています。

主な内容としては、法人市民税が平成 27 年度も順調に伸びていることなどから、市税が前年比 242,002 千円、5.7%増となる見込みとなっています。

また、国庫支出金が、284,424 千円、17.0%増、県支出金が、131,441 千円、11.4%増となっています。これは、投資的経費の財源として受け取る社会資本整備総合交付金や原子力防災における住民避難対策補助金などが増加したことが主な要因です。

市債も、庁舎耐震補強・改修工事、国営九頭竜川下流土地改良事業負担金などの投資的経費の増により、662,800 千円、61.4%の大幅増となっています。

一般会計 性質別内訳(歳入)

(単位:千円、%)

区分	平成 28 年度		平成 27 年度		比較増減額 C=A-B	増減率 C/B×100
	予算額 A	構成比	予算額 B	構成比		
市税	4,498,868	30.4	4,256,866	31.9	242,002	5.7
分担金及び負担金	306,399	2.1	360,099	2.7	△53,700	△14.9
使用料及び手数料	166,232	1.1	165,755	1.2	477	0.3
財産収入	66,766	0.5	139,778	1.0	△73,012	△52.2
寄附金	62	0.0	82	0.0	△20	△24.4
繰入金	723,252	4.9	567,344	4.3	155,908	27.5
繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
諸収入	435,295	2.9	356,215	2.7	79,080	22.2
地方譲与税	116,000	0.8	117,000	0.9	△1,000	△0.9
利子割交付金	7,000	0.0	8,000	0.1	△1,000	△12.5
配当割交付金	24,000	0.2	32,000	0.2	△8,000	△25.0
株式等譲渡所得割交付金	18,300	0.1	16,700	0.1	1,600	9.6
地方消費税交付金	570,000	3.8	506,000	3.8	64,000	12.6
ゴルフ場利用税交付金	60,000	0.4	69,000	0.5	△9,000	△13.0
自動車取得税交付金	24,000	0.2	20,000	0.1	4,000	20.0
地方特例交付金	10,000	0.1	10,000	0.1	0	0.0
地方交付税	2,800,000	18.9	2,800,000	21.0	0	0.0
交通安全対策特別交付金	4,000	0.0	4,000	0.0	0	0.0
国庫支出金	1,958,950	13.1	1,674,526	12.6	284,424	17.0
県支出金	1,287,975	8.7	1,156,534	8.7	131,441	11.4
市債	1,742,900	11.8	1,080,100	8.1	662,800	61.4
歳入合計	14,820,000	100.0	13,340,000	100.0	1,480,000	11.1

3 一般会計歳出予算の概要

(1) 歳出の性質別区分の状況

歳出は、人件費等の義務的経費が 6,177,115 千円、構成比 41.7%で 0.7%の減、投資的経費が 2,398,749 千円、構成比 16.2%で 109.5%の増、物件費等その他の経費が 6,244,136 千円、構成比 42.1%で 4.5%の増となっています。

主な増減の内容としては、物件費で、小中学校コンピュータ整備事業などにより 157,026 千円、8.1%の増となっているほか、普通建設事業費は 109.5%の大幅増となっています。これは、庁舎耐震補強・改修工事、国営九頭竜川下流土地改良事業負担金、農業者トレーニングセンター改修工事などが増となったことなどが要因として挙げられます。

一般会計 性質別内訳(歳出)

(単位:千円、%)

性質	区分	平成 28 年度		平成 27 年度		比較増減額 C=A-B	増減率 C/B×100
		予算額 A	構成比	予算額 B	構成比		
	人件費	2,120,513	14.3	2,166,254	16.2	△45,741	△2.1
	扶助費	2,649,335	17.9	2,663,296	20.0	△13,961	△0.5
	公債費	1,407,267	9.5	1,389,712	10.4	17,555	1.3
	義務的経費	6,177,115	41.7	6,219,262	46.6	△42,147	△0.7
	補助事業	1,718,748	11.6	580,823	4.4	1,137,925	195.9
	単独事業	568,924	3.8	439,856	3.3	129,068	29.3
	県営負担金	109,777	0.8	122,983	0.9	△13,206	△10.7
	災害復旧費	1,300	0.0	1,300	0.0	0	0.0
	投資的経費	2,398,749	16.2	1,144,962	8.6	1,253,787	109.5
	物件費	2,095,448	14.1	1,938,422	14.5	157,026	8.1
	維持補修費	54,621	0.4	42,950	0.3	11,671	27.2
	補助費等	2,826,602	19.0	2,819,265	21.2	7,337	0.3
	積立金	33,063	0.2	4,493	0.0	28,570	635.9
	投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	貸付金	173,700	1.2	173,700	1.3	0	0.0
	繰出金	1,050,702	7.1	986,946	7.4	63,756	6.5
	予備費	10,000	0.1	10,000	0.1	0	0.0
	その他経費	6,244,136	42.1	5,975,776	44.8	268,360	4.5
	歳出合計	14,820,000	100.0	13,340,000	100.0	1,480,000	11.1

(2) 歳出の目的別区分の状況

一般会計 目的別内訳(歳出)

(単位:千円、%)

款	区分	平成 28 年度		平成 27 年度		比較増減額 C=A-B	増減率 C/B×100
		予算額 A	構成比	予算額 B	構成比		
議会費		174,840	1.2	194,724	1.5	△19,884	△10.2
総務費		1,744,584	11.7	1,321,687	10.0	422,897	32.0
民生費		4,530,169	30.6	4,664,581	35.0	△134,412	△2.9
衛生費		752,483	5.1	806,132	6.0	△53,649	△6.7
労働費		74,452	0.5	73,886	0.6	566	0.8
農林水産業費		1,265,543	8.5	698,451	5.2	567,092	81.2
商工費		539,255	3.6	379,396	2.8	159,859	42.1
土木費		1,941,981	13.1	1,692,882	12.7	249,099	14.7
消防費		528,396	3.6	565,747	4.2	△37,351	△6.6
教育費		1,816,666	12.3	1,537,008	11.5	279,658	18.2
災害復旧費		1,300	0.0	1,300	0.0	0	0.0
公債費		1,407,267	9.5	1,389,712	10.4	17,555	1.3
諸支出金		33,064	0.2	4,494	0.0	28,570	635.7
予備費		10,000	0.1	10,000	0.1	0	0.0
歳出合計		14,820,000	100.0	13,340,000	100.0	1,480,000	11.1

4 重点事業

平成 28 年度予算では、昨年に引き続き「地域防災基盤の整備・強化」、「北陸新幹線開業に向けた周辺整備」に取り組むほか、「あわら市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向け、創業支援、観光振興、移住定住、少子化対策などの施策を積極的に推進します。

また、目玉事業として、認定こども園の 5 歳児無料化を継続して行うほか、庁舎耐震補強・改修工事、農業者トレーニングセンター改修工事等を行うこととしています。

<主な事務事業>

公共施設等総合管理計画策定業務	20,000 千円【新規】
庁舎耐震補強・改修工事（電話設備改修工事を含む。）	331,200 千円【新規】
芦原地区大型車庫改修工事	40,000 千円【新規】
嶺北消防組合負担金	501,871 千円
デマンド交通運行事業	30,962 千円
重度障害者（児）医療費助成事業	142,184 千円
障害者自立支援給付事業	583,191 千円
臨時福祉給付金支給事業	48,945 千円
生活保護給付事業	270,000 千円
子ども医療費助成事業【HEECE】	70,621 千円
児童手当支給事業	408,997 千円
私立認定こども園施設型給付金	781,400 千円
認定こども園 5 歳児無料化事業（予算の計上は無いが、36,378 千円相当）【継続】	
国民健康保険特別会計繰出金	219,727 千円
企業的園芸確立支援事業	56,860 千円
強い農業づくり交付金事業	20,311 千円【新規】
多面的機能支払交付金事業	224,533 千円
国営九頭竜川下流土地改良事業負担金	462,611 千円【新規】
県単林道事業(市野々刈安線、劔ヶ岳線)工事	38,300 千円
県営林道事業(劔ヶ岳線)負担金	19,500 千円
魅力発信事業	11,000 千円
温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり事業	199,446 千円
社会資本整備総合交付金事業(千束・赤尾線)	100,959 千円
社会資本整備総合交付金事業(石塚橋)	84,000 千円
社会資本整備総合交付金事業(瓜生・石塚線)	100,000 千円
社会資本整備総合交付金事業(芦原温泉駅周辺整備事業)	225,000 千円
北陸新幹線関連公共施設等整備事業補助金	82,122 千円【新規】
公営住宅長寿命化事業	81,680 千円
小中学校コンピュータ整備事業	138,000 千円【新規】

放課後子どもプラン推進事業【HEECE】	43,935 千円
農業者トレーニングセンター改修事業	279,531 千円【新規】

●「あわら市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る主要事業

空き家台帳整備業務	8,000 千円【新規】
移住定住促進事業	3,918 千円【新規】
スモール・ビジネス支援事業	10,597 千円
「ちはやふる」を活用した知名度向上事業	15,000 千円
二次交通アクセス強化事業（観光タクシーを含む。）	14,684 千円

5 HEECE構想事業

市では、重点政策である「若い世代が住み、生き、育てたくなるまち」を実現するため、平成 22 年度から HEECE 構想事業を展開しています。平成 28 年度当初予算では、HEECE 構想の取組みとして、健康、教育、環境、コミュニティ、経済産業の各分野において、約 161,055 千円（一般財源）を計上しました。

	事業名	事業内容
健康 (Health)	子ども医療費助成	乳幼児医療助成事業を拡大し、中学生までを対象に医療費の助成を行う 【助成内容】 ・通院 1 医療機関当たり月額 500 円を超えた金額を助成 ・入院 日額 500 円×8 日（上限）
	子どものための「簡単クッキング教室」	・食育スタジオを活用して子育て中の母親等を対象とする「簡単クッキング教室」を開催し、簡単クッキング・おやつ作りを実施する（開催数 3 回） ・就学前の子どもとその保護者を対象として、給食センター見学及び給食の試食会を実施する（開催数 2 回）
	あわら食と健康フェア	健康づくりにおける「食」の重要性をアピールするイベントを実施する 今年度は昨年度の対象である「子育て世代」（青年期等）に加え、壮年期、高齢期など幅広い世代に向けて実施する
	あわらの健康「食べ・歩き」おばあちゃんの味の日	・広報紙などで毎月 25 日のおばあちゃんの味の日を PR ・各こども園、小中学校で給食メニューに採用 ・子育て支援センターにおける試食会の開催 ・伝承料理をアレンジしたレシピを作成し、提供 ・食生活改善推進員が行う料理教室や各区で行う健康教室等で、メニューに伝承料理を採用 ・若い世代が参加しやすいよう託児所を設置し、食育スタジオを活用しながら親子料理教室等を開催
	健康づくりサポーターによる健康づくり運動	・地域における健康づくりのリーダーとして活動する健康づくりサポーターとして養成 ・サポーターの居住区を「健康づくりモデル地区」に指定し、地区民すべてを対象として健康づくり事業を実施 ・過去にモデル地区に指定した区を「健康づくり推進地区」に指定し、健康づくりサポーターを中心とした健康づくり事業の継続実践を支援
	NEWスポーツ・チャレンジデー	・市内 10 小学校(休校小学校を含む)に出向いて、スポーツ推進委員がニュースポーツ教室を開催し、市民の健康増進を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図る ・市内体育施設（トリムパークかなづ・農業者トレーニングセンター）において、定期的（前期 8 回、後期 8 回）に教室を開催し、気軽にニュースポーツができる環境を整え、市民にスポーツの楽しさと身体を動かすことへの関心を高める
教育 (Education)	5 歳児のこども園料無料化	市内の幼保連携認定こども園 12 施設に通園する 5 歳児のこども園料を無料化
	第 3 子以降のこども園料無料化	県のすくすく保育支援事業を拡大し、世帯の第 3 子以降のこども園料（3 歳児以降）を無料化
	たくましい保育	毎月 1 回公立こども園において、あわらトリムクラブのインストラクターが 3～5 歳児に運動指導を行うほか、日常の保育活動において、生活習慣やしつけなどを身に付けさせる
	おばあちゃんの保育応援	市内公立のこども園において、高齢者（シルバー人材センター派遣）が保育業務に補助的に関わる

	子育て世代包括支援センター	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）を市保健センターに整備し、認定こども園や子育て支援センターと連携することで、産前・産後のサポート体制を強化する
	放課後子どもプラン	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が昼間いない小学校児童に公民館や小学校の空き教室等を利用して遊びや生活の場を提供 ・公民館を中心に、子ども教室を開催し、土曜日の小学校児童の居場所づくりを実施 ・地域住民等の参画を得て、勉強、スポーツ、文化活動などの交流活動を実施
	絵本の会	親子を対象に、毎月1回図書館司書による絵本の紹介と読み聞かせや参加者が絵本を読みあって楽しむ講座を開催し、絵本の楽しさを伝える
環境	エコと自然のポータルプロジェクト	<p>人づくり、組織作りプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコ市民会議事業の推進 ・環境展、環境学習講座等の開催 ・HPやFB、CATV、広報紙等を活用した環境情報の発信 <p>生活環境プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコファミリープラン、エコオフィスプランの普及 ・グリーンカーテン事業の推進 ・ごみの減量化と分別収集の促進 <p>地域の自然（お宝）保全・創出プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな里山や北潟湖などの地域環境を保全するため各種団体の育成及び連携
	北潟湖再生プロジェクト	北潟湖自然再生に関する協議会において、県関係者・大学研究者・地元住民とともに、北潟湖の水質汚濁のメカニズムの解明、シンボル種の探査、保全すべき植生の自然再生について調査研究を行うとともに、観光資源としての活用などの基本的な方向を検討する。また、住民の北潟湖の自然的価値の認識を高めるため、北潟湖フォーラムを開催し意識啓発を図る
地域社会	地域ぐるみの防災組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会単位での自主防災組織の設立を促進 ・設立した組織に対し各種支援策を実施
	空き家台帳整備	市内の空き家の調査を行い、各種情報をデータベース化した台帳を整備し、移住や企業などの活用相談に対応する
	市民活動サポート助成金	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の団体が行うまちづくり事業の提案に基づき助成金を交付（交付は最大3ヵ年とし、1年目20万円限度、2年目10万円限度、3年目5万円限度） ・書類及び公開のプレゼンテーションによる審査で助成団体を選定 ・財源は、ふるさとあわらサポート基金に寄せられた寄附金のうち、その使途が市長に委任されているものを充当 ・毎年成果発表会を開催
	メルマガ DE 情報発信	メールマガジン配信システムを利用し、各種情報を、情報提供を希望する市民にスマートフォンや携帯電話等にメールで迅速に配信する
	あわら市役所 Facebook	各課からの情報提供及び、庁内の若手職員を中心とする運営チームによる特集記事の投稿により、毎日あわら市役所 Facebook ページで新しい情報を提供する
	広報キッズ	広報あわらに、平易な表現でルビを振った「市役所探検！広報キッズ」のコーナーを連載する
	移住定住促進	<p>移住定住コーディネーター（地域おこし協力隊）を設置し、福井Uターンセンター（福井移住定住促進機構）や福井労働局（ハローワーク三国）と連携しながら、本市に関心を持った人に対してきめ細やかな移住定住や就職の支援を行う</p> <p>また、三大都市圏等で開催される移住フェア等への積極的な参加や、福井労働局や市内企業と連携した企業説明会（就職面接会）、職業相談の開催を通して、UIJターン者の呼び込みを行う</p>

E C O N O M Y 経 済 産 業	福井ふるさと茶屋 整備支援	細呂木地区創成会が行う旧花咲ふくい農業協同組合細呂木支所を拠点とした集落活性化のための活動に対する支援
	縁結び応援	縁結びさんへの謝礼 ・縁結びさんへの所属する法人・団体に対する成婚謝礼（1組成婚につき10万円） 出会い創出イベント支援 ・出会いの場創出の事務局を市社会福祉協議会内に置き、本協議会の実施する出会い創出イベントを支援（@25万円×5回補助対象経費：婚活ツアー旅費、料理教室食材費・講師料、農林水産業体験費用等）
	花のまちづくり	あわら市フラワーサポート協議会が主体となって、JR芦原温泉駅前とえち鉄あわら湯のまち駅前を中心に四季折々の花の植栽活動を展開する
	郷土・伝承教室	・地区に伝承されている言い伝えや昔話、遊び、料理、風習など地元人等を講師に教室を開催 ・放課後子どもクラブや放課後子ども教室、小学校等を中心に開催
	ふるさと再発見の 集い	・地域の言い伝えや伝統、歴史、風習などに関わる事業内容を実施 ・地区内での多世代の交流型事業を実施
	地域ブランド推進	市民や産官学金、市の応援者等が一体となって地域ブランドを確立させるとともに、そのブランドコンセプトを基に7年後に開業となる北陸新幹線芦原温泉駅を核としたまちづくりデザインコンペを実施する。コンペの実施に当たっては全国的に発信力のあるメディア等を活用しながら、全国からアイデアを募集することで、地域ブランドのイメージアップと全国だけでなく海外へのPRも図る
	新規就農者移住サ ポート	認定新規就農者を対象に、市内の空き家に居住するための家をリフォームする費用及び農舎を借り受ける費用に対し補助する
	単身赴任者安心サ ポート	あわら市に転入してきた市内企業従業員の家族へ特産品を贈呈
	スモールビジネス 起業サポート	スモールビジネス支援事業補助金 対象者：市内で創業する人 1年目：補助率2/3、上限1,500千円 女性や高齢者は2年目・3年目の補助あり 2年目：補助率1/2、上限500千円 3年目：補助率1/3、上限300千円 セミナー、パネル展の開催
	求人・求職者マッ チング促進	インターンシップ実施企業や、県外からの求職者で市内企業でインターンシップを行った者に対して助成を行う
	大切にしたい会社 をサポート	社会貢献している企業に対し助成金を支給 (助成内容) ・障害者、高齢者の通勤費助成（デマンド方式コミュニティバスにおいて、料金を助成 200円/回） ・障害者雇用促進助成（市内に住む障害者を雇用した市内の事業者に対し助成金を支給 対象の労働者1人につき50,000円）
	地元での就職支援	ホームページや広報あわら、メールマガジン、市Facebookページで、市内企業の採用情報や市内で働く人、就活イベント情報、各種支援施設等を紹介
	U I ターン就職フ ェア	東京都内のハローワークや県主催の就職説明会に職員や地元企業と参加し、就職相談会を実施する
	創業支援資金利子 補給	市制度融資開業資金及び日本政策金融公庫の創業関連融資を受けた創業者に対し、利子の一部を補助する
あわら湯けむり芸 術祭	・旅館での映画上映&コンテスト ・旅館のロビーや庭での美大生のアート展示 ・湯のまち広場での巨大あ“わら”アート展示 ・上記3つの展示を絡めた街歩き企画の展開	

ちはやふる week in あわら	人気アニメ「ちはやふる」を観光素材として取り込み、あわら市の新たなファンづくり、観光誘客のスタイルを構築する (内容) ラッピングバス運行、イルミネーション、声優トークショー、百人一首大作戦(参加型街あるきゲーム)、かるた競技福井大会、かるた初心者向け実践教室、ファンミーティングなど
二次交通アクセス強化	・金沢・小松空港とあわら市を結ぶ無料バス運行 ・観光タクシー運行事業
越前加賀インバウンド推進	県境を跨ぐ4市1町で組織する「越前加賀宗教文化街道～祈りの道～推進協議会」を発展させ、新たに官民一体となって組織する「越前加賀インバウンド推進機構」を設立するとともに、観光PVやパンフレット、インフォメーションの多言語化や、海外に向けた宣伝活動、メディア・旅行会社の招聘を通して旅行商品の造成を促すとともに、観光事業者や交通事業者、商店などを対象とするインバウンドセミナーの実施により受け入れ態勢の強化を図るなど、広域連携によるインバウンド観光を推進する

HEECEとは?

「健康」のHealth、「教育」のEducation、「環境」のEnvironment、「地域社会」のCommunity、「経済産業」のEconomyからそれぞれの頭文字をとったあわら市オリジナルのことばです。

まちの活力は、そこに集い、暮らす人々の活気に比例する。こうした活気と活力を増進させるため、HEECE構想を前面に掲げながら、「健康」「教育」「環境」の各視点からこれを深化させるとともに、施策の基盤となる「地域社会」と「経済産業」の強化を図っていきます。

第2 平成27年度下半期の財政状況

1 予算の収入支出状況

(1) 歳入歳出予算の補正状況

平成27年度下半期においては、国庫補助事業等の確定に伴う補正及び平成27年度中に措置しなければならない経費についての補正を行いました。

(単位：千円)

会計区分		予算現額							予算現額
		当初予算額	繰越 予算額	5月専決 6月補正 予算額	9月 補正 予算額	12月 補正 予算額	3月 補正 予算額	3月追加 3月専決 予算額	
一般会計		13,340,000	527,044	564,498	135,969	294,273	265,597	47,000	15,174,381
特別会計	国民健康保険 特別会計	3,375,200				127,505	△26,334	20,000	3,496,371
	後期高齢者医 療特別会計	296,500					6,138		302,638
	産業団地整備 事業特別会計	3,800		218,110			△1,862		220,048
	農業者労働災害 共済特別会計	5,000							5,000
	小計	3,680,500		218,110		127,505	△22,058	20,000	4,024,057
企業会計	水道事業会計	1,069,017	8,459			4,750	△1,094		1,081,132
	工業用水道事 業会計	11,303				△3,153	36		8,186
	公共下水道事 業会計	2,523,635	70,272			△1,114	△56,403		2,536,390
	農業集落排水 事業会計	107,634				△89	△1,762		105,783
	小計	3,711,589	78,731			394	△59,223		3,731,491
合計		20,732,089	605,775	782,608	135,969	422,172	184,316	67,000	22,929,929

(2) 予算執行状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

①一般会計

(単位:千円、%)

歳入予算科目	予算現額	収入済額	割合
市税	4,256,866	4,742,492	111.4
地方譲与税	117,000	121,250	103.6
利子割交付金	8,000	7,823	97.8
配当割交付金	24,000	24,367	101.5
株式等譲渡所得割交付金	21,000	21,271	101.3
地方消費税交付金	577,000	578,917	100.3
ゴルフ場利用税交付金	74,000	73,086	98.8
自動車取得税交付金	28,000	25,975	92.8
地方特例交付金	10,129	10,129	100.0
地方交付税	3,088,913	3,169,736	102.6
交通安全対策特別交付金	4,000	3,859	96.5
分担金及び負担金	360,099	278,291	77.3
使用料及び手数料	165,778	157,386	94.9
国庫支出金	2,036,713	1,742,732	85.6
県支出金	1,480,856	552,268	37.3
財産収入	182,450	178,060	97.6
寄附金	51,762	51,044	98.6
繰入金	106,302	105,155	98.9
繰越金	862,995	917,837	106.4
諸収入	405,413	284,614	70.2
市債	1,313,105	344,024	26.2
合計	15,174,381	13,390,316	88.2

歳出予算科目	予算現額	支出済額	割合
議会費	191,368	190,031	99.3
総務費	1,598,495	1,204,617	75.4
民生費	4,867,902	4,326,330	88.9
衛生費	768,330	721,231	93.9
労働費	75,707	74,958	99.0
農林水産業費	803,035	711,549	88.6
商工費	897,229	749,242	83.5
土木費	1,850,211	1,474,115	79.7
消防費	577,545	570,575	98.8
教育費	1,738,376	1,589,016	91.4
災害復旧費	1,300	476	36.6
公債費	1,346,255	1,336,016	99.2
諸支出金	453,807	452,395	99.7
予備費	4,821	-	0.0
合計	15,174,381	13,400,551	88.3

②特別会計

(単位：千円、%)

会計区分	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	割合	支出済額	割合
国民健康保険特別会計	3,496,371	3,028,463	86.6	3,290,535	94.1
後期高齢者医療特別会計	302,638	291,266	96.2	290,798	96.1
産業団地整備事業特別会計	220,048	220,046	100.0	219,609	99.8
農業者労働災害共済特別会計	5,000	1,924	38.5	1,911	38.2

③企業会計

(単位：千円、%)

会計区分		歳入			歳出		
		予算現額	収入済額	割合	予算現額	支出済額	割合
水道事業会計	収益の収支	843,879	799,919	99.7	794,577	778,253	98.0
	資本の収支	77,096	53,956	70.0	286,555	250,288	87.3
工業用水道事業会計	収益の収支	11,067	10,154	100.2	8,186	7,314	89.3
	資本の収支	—	—		—	—	
公共下水道事業会計	収益の収支	1,183,968	1,130,033	100.0	1,165,243	1,159,121	99.5
	資本の収支	956,671	804,077	84.1	1,371,147	1,208,084	88.1
農業集落排水事業会計	収益の収支	75,393	74,150	99.9	75,813	72,915	96.2
	資本の収支	15,000	15,000	100.0	29,970	29,967	100.0

2 市有財産、市債及び一時借入金の状況

(1) 基金の現在高

(単位：千円)

区分	基金現在高 (平成 28 年 3 月 31 日現在)
一般会計	5,366,371
財政調整基金	3,144,000
減債基金	147,511
自動車購入基金	16,312
土地開発基金	199,215
ふるさと創生基金	164,768
福祉基金	225,798
工業等振興基金	9,677
南部土地区画整理基金	39,499
地域振興基金	1,300,000
ふるさとあわらサポート基金	60,742
金津雲雀ヶ丘寮基金	18,849
学校施設整備基金	10,000
国民体育大会運営基金	30,000
特別会計	277,868
国民健康保険特別会計	241,288
農業者労働災害共済特別会計	36,580
総合計	5,644,239

(2) 市債及び一時借入金の現在高

(単位：千円)

区分	市債現在高 (平成 28 年 3 月 31 日現在)
一般会計	16,181,022
うち合併特例債	7,134,384
うち臨時財政対策債	6,147,926
うちその他	2,898,712
企業会計	13,348,042
公共下水道事業会計	11,265,143
水道事業会計	1,682,811
農業集落排水事業会計	400,088
総合計	29,529,064

(単位：千円)

一時借入金 (平成 28 年 3 月 31 日現在)
0